

カトリック葛西教会 Kasai Catholic Church

復活節第3主日 3rd Sunday of Easter

さあ、来て、朝の食事をしなさい (ヨハネ 21・12)

Come and have breakfast (Jn 21-12)

〒134-0083 江戸川区中葛西 1-10-15

1-10-15 Naka-Kasai, Edogawa-ku, Tokyo

Tel. 03-3689-0014 Fax. 03-5696-4449

<http://kasaicc.net/>

主日のミサ

土曜日 Sat. 7:00pm (日本語)

日曜日 Sun. 10:00am (日本語) & 4:00pm (English)



主のご復活おめでとうございます！ Happy Easter

合同堅信式

5月15日(日)にカトリック教会で東京教区合同堅信式が行われます。まだ堅信を受けていない中学2年以上の方で堅信を希望される方は4月24日(日)までに神父様かブラザーか事務室までお申し込み下さい。

Confirmation On May 15

Confirmation ceremony will be held in Tokyo Cathedral on May 15, 2016. All adults who have not received Confirmation yet may apply to the office. Application ends April 24.

中・東葛西地区集会のお知らせ

本日ミサ後に、中・東葛西の地区集会を開きます。この地区の方はこぞってご参加下さい。

場所：新川さくら館

会費：300円

Kasai Church 50th Anniv. Preparation Committee

Contribution for church's 50th Anniversary totals **9,415,413** yen. Thank you for your understanding and continued support and prayer.

献堂50周年記念事業第4期献金報告

2016年第4期中間報告(3月末現在)

申込者数：71名(目標：200名)

献金合計：1,209,150円(目標：3,000,000円)

1期からの合計は 9,415,413円です。

今後とも皆様のご協力を宜しくお願い致します。ご質問などありましたら本橋俊和・佐藤隆一にお聞きください。

Catechism for Graders & Parents

Every Sunday from 3:00pm, Catechism for elementary graders is taught. Interested applicants, please register to Fr. Jess

ウルスラ修道会でのミサ

これからは4月21日(木)、5月19日(木)、6月16日(木)です。おいしいランチと祈りのひと時をご一緒に。皆様ご参加下さい。

50周年ロザリオの祈りの報告(2016年分)

3月まで29名391環です。今年は3,000環が目標です。よろしくお祈り致します。

(50周年委員会)

共同祈願の祈り

キリストは復活し、いつも
ともにいてくださる。

その他今後の予定

- 04月10日(日) 復活節第3主日 東京レジア(13:30)
04月17日(日) 復活節第4主日
04月24日(日) 復活節第5主日
04月29日(金) 共同墓参 府中墓地 ミサと納骨式

今週の掃除は4月16日(土)

清新町地区です。皆様ご参加ください。
This Week's Church Cleaning Duty
April 16th Saturday
Seishin-cho Group

献堂50周年記念事業準備

葛西教会は2019年に松江教会から数えて50年を迎えます。老朽化した建物の内装・配管・照明・音響などさまざまな課題を踏まえ、心を一つにして準備作業を行いたいと思います。ご協力をお願い致します。



『復活節第3主日』C年

今日の福音 ヨハネによる福音 (21:1-19、又は21:1-14)

その後、イエスはティベリアス湖畔で、また弟子たちに御自身を現された。その次第はこうである。シモン・ペトロ、ディディモと呼ばれるトマス、ガリラヤのカナ出身のナタナエル、ゼベダイの子たち、それに、ほかの二人の弟子が一緒にいた。シモン・ペトロが、「わたしは漁に行く」と言うと、彼らは、「わたしたちも一緒に行こう」と言った。彼らは出て行って、舟に乗り込んだ。しかし、その夜は何もとれなかった。既に夜が明けたころ、イエスが岸に立っておられた。だが、弟子たちは、それがイエスだとは分からなかった。イエスが、「子たちよ、何か食べる物があるか」と言われると、彼らは、「ありません」と答えた。イエスは言われた。「舟の右側に網を打ちなさい。そうすればとれるはずだ。」そこで、網を打ってみると、魚があまり多くて、もはや網を引き上げることができなかった。イエスの愛しておられたあの弟子がペトロに、「主だ」と言った。シモン・ペトロは「主だ」と聞くと、裸同然だったので、上着をまとって湖に飛び込んだ。ほかの弟子たちは魚のかかった網を引いて、舟で戻って来た。陸から二百ペキスばかりしか離れていなかったのである。

さて、陸に上がってみると、炭火がおこしてあった。その上に魚がのせてあり、パンもあった。イエスが、「今とった魚を何匹か持って来なさい」と言われた。シモン・ペトロが舟に乗り込んで網を陸に引き上げると、百五十三匹もの大きな魚でいっぱいであった。それほど多くとれたのに、網は破れていなかった。イエスは、「さあ、来て、朝の食事をしなさい」と言われた。弟子たちはだれも、「あなたはどなたですか」と問いただそうとはしなかった。主であることを知っていたからである。イエスは来て、パンを取って弟子たちに与えられた。魚も同じようにされた。

イエスが死者の中から復活した後、弟子たちに現れたのは、これでもう三度目である。

《食事が終わると、イエスはシモン・ペトロに、「ヨハネの子シモン、この人たち以上にわたしを愛しているか」と言われた。ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの小羊を飼いなさい」と言われた。二度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロが、「はい、主よ、わたしがあなたを愛していることは、あなたをご存じです」と言うと、イエスは、「わたしの羊の世話をしなさい」と言われた。三度目にイエスは言われた。「ヨハネの子シモン、わたしを愛しているか。」ペトロは、イエスが三度目も、「わたしを愛しているか」と

言われたので、悲しくなった。そして言った。「主よ、あなたは何もかもご存じです。わたしがあなたを愛していることを、あなたはよく知っておられます。」イエスは言われた。「わたしの羊を飼いなさい。はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。」ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。》

聖書新共同訳より引用

A Reading from the Holy Gospel according to John (21 : 1-19 or 21 : 1-14)

It is the Lord!

Note. This reading can be read by roles:

N = narrator; S = Simon Peter; J = Jesus.

- N. Jesus showed himself again to the disciples. It was by the Sea of Tiberias, and it happened like this: Simon Peter, Thomas called the Twin, Nathanael from Cana in Galilee, the sons of Zebedee and two more of his disciples were together. Simon Peter said,
- S. I'm going fishing.
- N. They replied, "We'll come with you." They went out and got into the boat but caught nothing that night. It was light by now and there stood Jesus on the shore, though the disciples did not realize that it was Jesus. Jesus called out,
- J. Have you caught anything, friends?
- N. And when they answered, "No," he said,
- J. Throw the net out to the starboard and you'll find something.
- N. So they dropped the net, and there were so many fish that they could not haul it in. The disciple Jesus loved said to Peter, "It is the Lord." At these words, "It is the Lord." Simon Peter, who had practically nothing on, wrapped his cloak round him and jumped into the water. The other disciples came on in the boat, towing the net and the fish; they were only about a hundred yards from the land.
- As soon as they came ashore they saw that there was some bread there, and a charcoal fire with fish cooking on it. Jesus said,
- J. Bring some of the fish you have just caught.
- N. Simon Peter went aboard and dragged the net to the shore, full of big fish, one hundred and fifty-three of them; and in spite of there being so many the net was not broken. Jesus said to them,
- J. Come and have breakfast.
- N. None of the disciples was bold enough to ask, "Who are you?"; they knew quite well it was the Lord. Jesus then stepped forward, took the bread and gave it to them, and the same with the fish. This was the third time that Jesus showed himself to the disciples after rising from the dead.
- After the meal Jesus said to Simon Peter,
- J. Simon son of John, do you love me more than these others do?
- N. He answered.
- S. Yes, Lord, you know I love you.
- N. Jesus said to him,
- J. Feed my lambs.
- N. A second time he said to him,
- J. Simon son of John, do you love me?
- N. He replied,
- S. Yes, Lord, you know I love you.
- N. Jesus said to him,
- J. Look after my sheep.
- N. Then he said to him a third time,
- J. Simon son of John, do you love me?
- N. Peter was upset that he asked him the third time, "Do you love me?" and said,
- S. Lord, you know everything; you know I love you.
- N. Jesus said to him,
- J. Feed my sheep.
- I tell you most solemnly, when you were young you put on your own belt and walked where you liked; but when you grow old you will stretch out your hand, and somebody else will put a belt round you and take you where you would rather not go.
- N. In these words he indicated the kind of death by which Peter would give glory to God. After this he said,
- J. Follow me.

This is the Gospel of the Lord

いつくしみの特別聖年のための祈り

主イエス・キリスト、

あなたは、わたしたちが天の御父のようにいつくしみ深い者となるよう教え、

あなたを見る者は御父を見る、と仰せになりました。

み顔を示してくださいればわたしたちは救われます。あなたの愛に満ちたまなごしによって、

ザアカイとマタイは富への執着から解き放たれ、姦通の女とマグダラのマリアは、

この世のものだけに幸せを求めることから解放されました。

ぬすびと

ペトロはあなたを裏切った後に涙を流し、悔い改めた盗人^{ぬすびと}には樂園が約束されました。

あなたはサマリアの女に、「もしあなたが神のたまものを知っていたなら」と語られました。

このことばを、わたしたち一人ひとりに向けられたことばとして聞かせてください。

あなたは、目に見えない御父の、目に見えるみ顔です。

何よりもゆるしといつくしみによって、自らの力を示される神のみ顔です。

教会がこの世において、復活し栄光に満ちておられる主のみ顔となりますように。

あなたは、ご自分に仕える者が弱さを身にまとい、無知と過ちの闇の中を歩む人々を、

心から思いやることができるようお望みになりました。

これら仕える者に出会うすべての人が、神から必要とされ、愛され、ゆるされていると感ずることができるよう

に。あなたの霊を送り、わたしたち一人ひとりに油を注ぎ、聖なるものとしてください。神のいつくしみの聖なる

年が、主の恵みに満ちた一年となり、

あなたの教会が新たな熱意をもって、貧しい人により知らせをもたらし、捕らわれ、抑圧されている人に解放を、

目の見えない人に視力の回復を告げることができるよう。

この祈りを、いつくしみの母であるマリアの取り次ぎによって、

御父と聖霊とともに世々に生き、治めておられるあなたにおささげいたします。

アーメン。